

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

手話落語家 デフ一福 ～落語人生35年を語る in サポートセンター～

全国、津々浦々で手話落語によって笑いを起こすデフ一福師匠。

3月15日(日)サポートセンターの社会参加事業に来ていただき、大きな笑いが生まれました。今回は落語と講演の二部構成。約60名が参加。



落語では奈良の大仏様の秘話！？や、一番搾りの話し（ネタバシになるので詳しくは話せません）など、最初から最後まで笑いが絶えない話しばかり。

講演では、ご自身が手話落語を始めたきっかけや、ろう文化を大切にしたい・知ってもらいたいというお話しを手話によりされました。



その1「師匠との出会い、そして独立」

運命の始まりはひとつの新聞記事。手話落語の募集があり、最初は落語の意味も分からず、書いてある住所を訪れた。そこで出会ったのが桂福団治師匠。ネタを教えてもらう代わりに手話を教え、師匠について約15年。それから、もっとろう者に見てもらい楽しんで満足してもらいたいと独立。



その2「ろう者は非常識！？」

ろう学校時代、「〇〇“君(さん)””と呼ばれることはなく、名前だけで呼ぶのが当たり前だと思っていた。師匠を「福団治」と敬称をつけずに呼んだら怒られた。学校での経験が社会人になって必要になる。“君”や“さん”をつけて呼ぶこと、社会のことを学校でちゃんと教えてほしかった。

その3「昔の手話を守りたい」

昔からの手話を聞くのが趣味。地方で公(講)演をするとき、その土地ならではの手話を聞く。“先生”の手話はどうする？初めて見る珍しい手話もある。それはとても大切なもの、守りたい。



↑デフ一福師匠を囲んで…どこにいる！？

手話通訳者全国統一試験
合格者3名に合格証書を伝達 (3月29日)



今年度は平均合格率を大幅に上回る合格率33%。

合格おめでとうございます🎉

左から辻田さん、富田さん、中村さん。

山口知事と補聴器助成金制度に関する意見交換会

山口知事と軽度・中等度難聴児5名と保護者との意見交換会が3月21日(土)当センターで開かれた。それぞれ自分の言葉で知事へ不自由なこと、困っていることなどを伝えるとともに、補聴器の必要性和助成金制度について訴えました。知事は一生懸命話す子ども達ひとりひとりと向き合い大変丁寧に対応されました。最後に記念撮影と軽度・中等度難聴児保護者の会から要望書を知事へ提出されました。

軽度・中等度難聴児への理解が広がり、一日も早く将来ある子どもたちが聴者と同じように安心して学習できるよう支援ができればと思う。

シリーズきこえの仕組み10

0 dB	蝶の羽ばたき 置時計の秒針 (前方 1m)
30 dB	ささやき声
50 dB	エアコン、換気扇
60 dB	普通会話
70 dB	掃除機、電話のベル
80 dB	地下鉄車内、電車内
90 dB	騒々しい工場の中
100 dB	電車が通る時のガード下
130 dB	飛行機のエンジン音、落雷



※掃除機や電話はメーカーによりことなるため参考程度です。

今月は身の回りの音の大きさがどれくらいなのか確認しましょう。聞こえの程度を把握する参考になりますよ。

まず、前回のオーディオグラムを思い出してください。オーディオグラムに記載されている0dB、これを”無音”と思われている方が多いようですが、実は、0dBの音が出ているんです。この0dBは20代の聞こえの平均聴力レベルを表しています。聴力測定をしていると、特に小さなお子さんの中には-5dBや-10dBの非常に小さな音にも応答してくれます。では反対にどれくらい大きな音を聞くことができるのでしょうか？

オーディオメーターの音を少しずつ大きくしていくと、”かすかに聞こえる”→”まあまあ聞こえる”→”大きいけど我慢できる”→”うるさい”と感覚がかわってきます。この”うるさい”と感じる音の大きさは個人差はありますが約80~90dBです。これよりも音が大きくなると”痛み”を感じる人が多いようです。

蝸牛というカタツムリ様の器官を覚えていますか？この中には有毛細胞が約2万本ありましたね。有毛細胞は約130dBという音が入ると細胞が壊れると言われています。人が聞くことができる最大の音の大きさは約120~130dBとなります。音が大きい、テレビやラジオの音量をついつい大きくしてしまうという方は一度耳鼻科受診をすることをお勧めします。

嬉野旅館組合 女将の会手話講座

手話言語条例制定された嬉野市で旅館関係者も手話学習に取り組んでいます。ろうのお客様を手話でおもてなし。(3月24日)



唐津市障がい者支援センター(3月31日)

「りんく」が城内閣跡にオープン

当センターも積極的に支援します。

2階の情報支援センターでは当センターが貸し出ししているDVDを視聴できます。

4月15日(水)から毎月

第3水曜10時~15時「出張 聞こえの相談」、第2火曜はろう者によるピアカウンセリング、偶数月の第3水曜は難聴者によるピアカウンセリングを行います。



聴覚障害者と ICT (情報通信機器) No.7



アプリ名「拡大鏡&顕微鏡」

その名の通り拡大鏡として使用。お店で「商品の表示が見えない」「もらった資料の文字が小さくて読めない」など、虫眼鏡があつたらな~と思う場面で使えるアプリ。カメラ機能もついているので、拡大した文字を写真に撮って、ゆっくり読むこともできます。小さい文字が苦手になったという人はぜひ!

要約筆記者養成講座

2クール目(昨年12月3日から全17回84時間)の修了式が、最終講義を終えた4月8日にありました。修了者は申し込んだ8名のうち7名と高率でした。



手話通訳者養成講座

(通訳Ⅰ・後期) 修了式

3月29日に12名の方々に修了書を授与。前期の通訳Ⅰ修了者数(13名)と合わせ25名が27年度通訳Ⅱ受講対象者となります。



【お知らせ】 **Oランチタイム手話講座** 今後も継続! 新メンバーの申し込みをお待ちしています。

毎週火曜日 12:20~13:00 (第2火曜はろう者との会話を体験) 当センター内にて毎週開催。

O赤外線補聴援助システムを活用した佐賀にわか・落語会を開催! 6月13日(土) 10時開場~12時

O第3土曜上映会...5月16日(土) 10時~「蔵(くら)」(予定) 出演: 浅野ゆう子、西島秀俊

【編集後記】 若葉が輝く季節。気持ち新たに、新年度もいろんなことに挑戦! できたらいいなあ~ (きよた)



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

9:30 ~ 20:00(水曜)

<閉館日>

毎週月曜日、祝日